



洛陽工高2チーム出場

ロボコンVへ エンジン全開

愛知県で9日から始まる全国高校ロボット競技大会に、洛陽工業高(京都市南区)の2チームが出場する。うち1チームは9月の京都府大会で2位以下に大差をつけて優勝。チームのメンバーは「全国大会でも決勝に進出したい」と、本番に向けロボットの改良や操作の練習に励んでいる。

コンテストは、自作のロボット(縦横高さが60センチ以内)をリモコンで操作し、制限時間内に▽段差越え▽棒渡り▽電球付け外し▽はしご登り▽の課題をこなして合計点数を競う。洛陽工

全国大会に向け、ロボットの改良や操縦の練習に励む松岡さん(左)と山田君(右)
――京都市南区・洛陽工業高

あすから全国大会 改良・練習重ねる

業高は3年連続の出場。昨年、全国大会に出場したチームの成績は144台中、39位だった。

府大会優勝は、機械コース3年松岡千聖さん(18)、山田成哉君(18)、澤井巧君(18)のチーム。ロボット「10万馬力」は、子機の上に親機が載り、切り離して動くことができる。府大会には11チームが出場し、唯一はしご登りに成功した。340点を挙げ、2位は70点だった。

松岡さんが操縦し、山田君と澤井君が補助役になり、連日、学校で練習する。難関の傾斜42度のはしご登りがスムーズに行くよう、ロボットの改良を重ねる。全国大会には、同型の「20万馬力」のチームも出た。府大会では子機の調子が悪く、3位の60点だったが、練習では「10万馬力」にひけをとっていないという。

松岡さんたちは「2台そろって決勝進出し、優勝したい」と口をそろえる。全国大会は10日まで。府内から田辺高(京田辺市)と府立工業高(福知山市)も出場する。(藤松奈美)